



Dynavector DRT XV-1s Cartridge

取扱説明書

■ 開発の経緯

グラド、オルトフォン社がムービング・コイル型と称してMCカートリッジを発売してからほぼ半世紀、その基本構造は現在でも変わらず、性能の向上は主に振動系の材質、スタイラス形状とその材質、高エネルギーの稀土類マグネットの採用、ダンパーゴムの材質等、数々の新素材投入や改良の経緯を踏まえ今日に至っています。その結果、今日市販されているカートリッジでは周波数特性、トラックビリティ等の諸データ上は、ほぼ満足すべき結果が得られています。

前モデルXV-1ではその独創的な磁気回路設計の結果、その比類なき再生音は、発売当時から国内外の著名オーディオ誌から絶賛され、2001年度にはアメリカの伝統あるオーディオ専門誌アプソリュートサウンド・アナログ部門において栄誉あるゴールデンアワード（金賞）を受賞しました。

XV-1発売直後からも更なる改良を加えるべき試作実験を繰り返し、新バージョンXV-1Sではより理想に近い磁束の流れを実現しています。

■ 磁束分布のリニアリティ

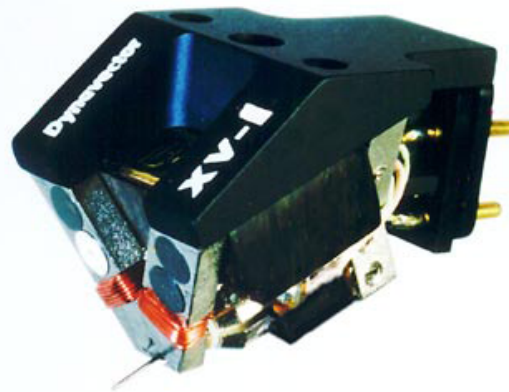
XV-1ではオルトフォン型MCの磁気ギャップにおける磁束分布のリニアリティおよび超高エネルギー積を持つ稀土類マグネット特有の急峻なB-Hカーブの音色に与える影響を再検討し、全く新しい磁気回路を開発、決定しました。

XV-1Sでは更にコイルボbinを横切る磁束の流れとそのエネルギー効率をより厳密に追求し、より理想的な磁気回路構造を目指しました。そのためキーデバイスとなるフロントヨークには高純度な純鉄を採用し、針穴形状と磁気フラックススイコライザーに精密且つ理想的な加工を施しています。この新設計磁気回路の採用により、その滑らかな再生音と驚くべき楽器感分解能は更に向上し、レコードの持つ情報量を汲まなく再現だけでなく、新旧アナログレコードのもつ音楽的価値を大きく再認識させてくれます。

■ 各部の特長

カンチレバーには現在最も総合特性の優れたφ0.3mm径ソリッドボロンを使用し、発電コイルには各種線材を吟味の上PCOCC線を採用、0.3mVの出力電圧を確保しています。

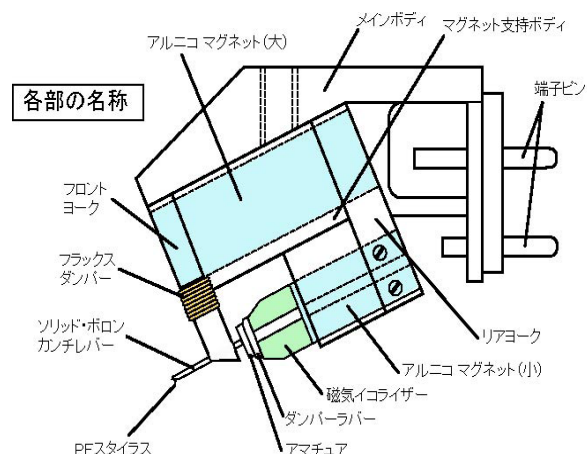
インピーダンス6オームは多くのヘッドアンプや昇圧トランスに適合します。



■ 新設計精密加工磁気回路

磁気ギャップ内の磁束は、8ヶの小口径アルニコ・マグネットと磁気フラックス・イコライザーの作用により、その分布のリニアリティと直交性はかつてない程の改善が図られています。また動的な磁束変動に対してその変動を緩和するフラックスダンパーを装備しています。

より理想に近い磁束の流れを実現するため、フロントV型ヨークとイコライザーピースにはコストに捕らわれない高精度且つ複雑な切削加工を施しています。磁気回路全体のバランスをも熟慮し、精密加工された黒檀ブロックの採用により、金属固有な音色の発生を抑えています。



■取扱方法

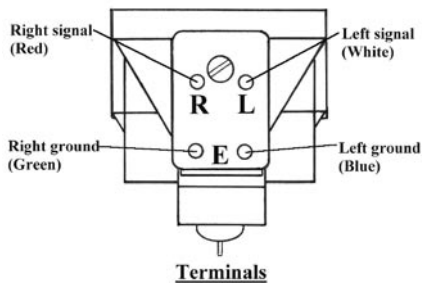
1. トーンアームへの取り付け

カートリッジ本体を付属ネジ（M2.5ソケットスクリュー）で、お手持ちのヘッドシェルにしっかりと固定します。ボディのネジ深さは4mmですので、ヘッドシェルの厚さを考慮して最適な長さの付属ねじを使用ください。長過ぎるネジはボディを破損させる恐れがあります。

ヘッドシェルに取り付ける際はオーバーハング長を調整する必要があります。最適なオーバーハング長は使用するトーンアームの説明書に準拠してください。

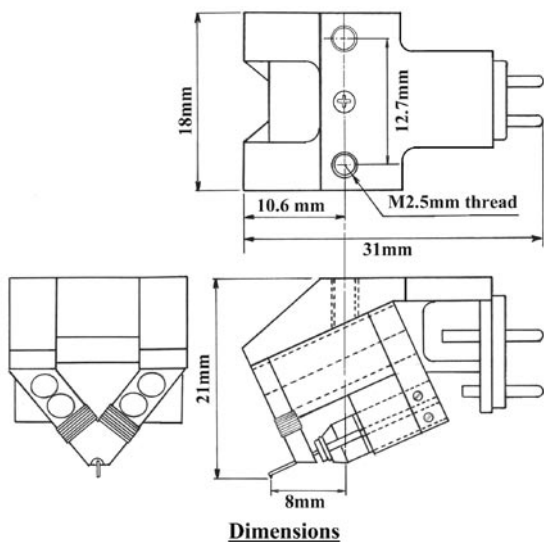
2. 接続方法

下記ピン配置に従い、各リード線を正しくヘッドシェル端子に接続してください。



3. 針 圧

適正針圧は1.8～2.2gで、室温20℃が基準です。室内温度が高い場合はやや軽め、低い場合はやや重めの針圧でお使いください。温度が極端に低い場合はトラッキング能力が低下し、レコードを傷つける恐れがありますのでご注意ください。



4. 出力電圧とヘッドアンプ

出力電圧は0.3mVですのでヘッドアンプや昇圧トランスが別途必要になります。ヘッドアンプの推奨負荷抵抗は30Ω以上、昇圧トランスは5～10Ωでご使用ください。

5. 針先のクリーニング

針先はカートリッジの性能を左右する大変デリケートな部分ですので取り扱いにはご注意ください。針先の汚れはやわらかいブラシなどで根本から針先に向かって軽く払うようにクリーニングしてください。通常の針先クリーニングはノンアルコールタイプのクリーニング液を推奨します。

6. 針交換

針先が磨耗した場合は、本体をお買い上げいただいたお店か直接弊社宛お送りください。針交換価格にて針交換致します。輸送中の破損を防ぐ為、お買い上げいただいた時のパッケージは保存しておいてください。

7. 仕 様

形式	: マルチマグネット / フラックスダンパー付 MC カートリッジ
出力電圧	: 0.3 mV (at 1KHz, 5cm/sec.)
周波数特性	: 20 - 20,000Hz (± 1dB)
クロストーク	: 30 dB (at 1KHz)
チャンネルバランス	: 1.0 dB (at 1KHz)
コンプライアンス	: 10 mm/N
インピーダンス	: R = 6 Ω
スタイラスチップ	: ラインコンタクト PF 曲率半径 7 × 30ミクロン
カンチレバー	: 6mm 長 φ 0.3mm ボロンムク
針圧	: 1.8 - 2.2 g
重量	: 12.6 g

ダイナベクター株式会社

101-0031 東京都千代田区東神田 3-2-7
TEL 03-3861-4341 FAX 03-3862-1650
URL <https://www.dynavector.co.jp/>